

表2 2022年度詳細環境調査検出状況・検出下限値一覧表

物質 調査 番号	調査対象物質	水質(ng/L)		底質(ng/g-dry)	
		範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値
[1]	アルカノール類（アルキル基が直鎖で炭素数が10から16までのもの）※				
	[1-1] 1-デカノール	nd~10 1/42	6.3		
	[1-2] 1-ウンデカノール	nd 0/43	4.3		
	[1-3] 1-ドデカノール	nd~480 24/43	4.8		
	[1-4] 1-トリデカノール	nd~16 2/43	4.0		
	[1-5] 1-テトラデカノール	nd~22 30/43	1.4		
	[1-6] 1-ペンタデカノール	nd~30 2/43	3.1		
	[1-7] 1-ヘキサデカノール	nd~1,100 26/43	3.0		
[2]	アルキル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウム及びその塩類（アルキル基の炭素数が12、14又は16のもの）※	2.5~310 43/43	※※1.6		
	[2-1] ドデシル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウムの塩類	1.7~180 43/43	0.72		
	[2-2] テトラデシル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウムの塩類	0.80~84 43/43	0.47		
	[2-3] ヘキサデシル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウムの塩類	nd~41 38/43	0.41		
[3]	ジ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステル及びその塩類※	1.7~24 25/25	0.56		
[4]	N,N-ジメチルアルカン-1-アミン=オキシド類（アルキル基の炭素数が10、12、14、16又は18で、直鎖型のもの）※				
	[4-1] N,N-ジメチルデカン-1-アミン=オキシド	nd~15,000 7/48	6.4	nd 0/28	1.5
	[4-2] N,N-ジメチルドデカン-1-アミン=オキシド	nd~1,800 34/48	26	nd~12 23/28	2.0
	[4-3] N,N-ジメチルテトラデカン-1-アミン=オキシド	nd~61 28/48	11	nd~3.8 7/28	1.4
	[4-4] N,N-ジメチルヘキサデカン-1-アミン=オキシド	nd~11 26/48	0.58	nd~2.3 1/28	2.1
	[4-5] N,N-ジメチルオクタデカン-1-アミン=オキシド	nd~4.9 1/48	4.3	nd~3.8 1/28	2.8
[5]	トリメチル(オクタデシル)アンモニウムの塩類※			2.6~2,500 27/27	0.14
[6]	4,4'-(プロパン-2,2-ジイル)ジフェノール（別名：4,4'-イソプロピリデンジフェノール又はビスフェノールA）※	nd~95 28/32	1.8		

(注1) 検出頻度は検出地点数/調査地点数（測定値が得られなかった地点数及び検出下限値を統一したことで集計の対象から除外された地点数は含まない。）を示す。1地点につき複数の検体を測定した場合において、1検体でも検出されたとき、その地点は「検出地点」となる。

(注2) 範囲は全ての検体における最小値から最大値の範囲で示した。そのため、全地点において検出されても範囲がnd~となることがある。

(注3) は調査対象外の媒体であることを意味する。

(注4) ※は排出に関する情報を考慮した地点も含めて調査した調査対象物質であることを意味する。

(注5) アルキル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウム及びその塩類（アルキル基の炭素数が12、14又は16のもの）及びトリメチル(オクタデシル)アンモニウムの塩類の濃度は、検出された物質が全て塩化物であるとして換算した値である。

(注6) ※※は対象物質ごとの検出下限値の合計値であることを意味する。